

承認番号 RD 5703-098

文書番号 10011675

平成 22 年 1 月 19 日

変成シリコーン系シーリング材
アークシールS-200 試験成績書

株式会社タイムメント
技術開発センター

1. 目的

変成シリコーン系シーリング材「アークシールS-200」の性能試験を実施した。

2. 試験項目

- 2-1 性状試験
- 2-2 ダンベル引張試験
- 2-3 引張接着性試験

3. 試験方法

3-1 性状試験

- (1)外観 目視による。
- (2)比重 JIS A 5758(1992)
- (3)不揮発分 JIS K 6833-1
- (4)押出し性 JIS A 1439
- (5)タックフリー JIS A 1439

3-2 ダンベル引張試験

(1)シーリング材シートの作製

標準状態(23±2℃、50±10%RH)において約3mmのシートを作製する。

(2)ダンベルの打ち抜き

養生後、JIS K 6301 に規定する1号ダンベルを打ち抜く。

(3)ダンベル引張試験

養生後、変位速度500mm/minでダンベル引張試験を行なう。

養生条件 標準状態 336時間

3-3 引張接着性試験

JIS A 1439 5.20 引張接着性試験に準ずる。

ただし、加熱温度 80℃

被着体 モルタル板、アルミニウム板、ガラス板

プライマー 変成シリコーンプライマーM-1 (モルタル板用)

変成シリコーンプライマーM-2 (アルミニウム板、ガラス板用)

4. 試験方法

4-1 性状試験

No	項目	結果
1	外観	ペースト状
2	比重	1.31
3	不揮発分	97.5%
4	押出し性	3秒(23℃)
5	タックフリー	3時間

4-2 ダンベル引張試験

	M50	Tb	Eb
	N/mm ²	N/mm ²	%
標準状態	0.75	1.04	308

注) M50 : 50%引張応力

Tb : 破断時の強度

Eb : 破断時の伸び

4-3 引張接着性試験

・被着体:モルタル板

		50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の伸び	破壊時の伸び	破壊状態
		N/mm ²	N/mm ²	%	%	%
養生後	標準状態	0.68	0.82	244	267	A100
加熱後	標準状態	0.76	0.97	197	211	A100
水浸せき後		0.55	0.62	316	408	A100

・被着体:アルミニウム板

		50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の伸び	破壊時の伸び	破壊状態
		N/mm ²	N/mm ²	%	%	%
養生後	標準状態	0.72	0.76	201	280	A100
加熱後	標準状態	0.74	0.81	149	183	A90AB10
水浸せき後		0.50	0.53	234	326	A95AB5

・被着体:ガラス板

		50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の伸び	破壊時の伸び	破壊状態
		N/mm ²	N/mm ²	%	%	%
養生後	標準状態	0.68	0.73	193	289	A100
加熱後	標準状態	0.11	0.17	40	87	A10AB90
水浸せき後		0.52	0.60	285	354	A100

注)A:シーリング材の凝集破壊

AB:シーリング材と被着体の界面破壊

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、
 確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。